F107

Roland Digital Piano
取扱説明書

Roland

English
日本語
Deutsch
Français
Italiano
Español
Português
Nederlands
简体中文

こんなことができます

ピアノを楽しむ

♪ いろいろな音で弾く 6 ページ

このピアノはコンサート用のグランドピアノの音色からピアノ以外の楽器の音色まで、さまざまな音色が内蔵されています。また、音色を重ねて演奏することもできます。

♪ 内蔵曲を聴いて練習する 6 ページ

このピアノにはクラシックやジャズ、練習曲など、さまざまなジャンルの名曲があらかじめ内蔵されています。内蔵曲の演奏をお手本にして練習してみましょう。また、練習の際にメトロノームを用いることで、リズムに合わせる感覚を養うことができます。

♪ 演奏を録音する 8 ページ

自分で弾いた演奏を録音し、再生して確認することができます。自分の演奏をその場で聴き返して、次の演奏に活かしてみましょう。

Bluetooth® を活用する

♪ ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす（Bluetooth® Audio 機能） 10 ページ

スマートフォンやタブレットとつないで、お気に入りの曲をピアノのスピーカーから聴くことができます。曲に合わせて演奏すれば、憧れのミュージシャンと共演することもできます。

♪ ピアノとアプリを一緒に使う（Bluetooth® MIDI 機能） 11 ページ

このピアノでは、アプリと接続することで、さらに多彩な音色を選ぶことができます。また、アプリから新しい楽譜を見つけたり、練習サポート機能を使ったりすることで、新しいピアノ演奏の世界を体験できます。

目次

クイック・オペレーション 2

演奏する前に 4
蓋を開ける／閉める 4
機器を接続する（底面） 4
F107 の基本操作 5

演奏する／曲を聴く／練習する 6
音色を選ぶ 6
曲を再生する 6
メトロノームを使って練習する 7

演奏を録音する 8
鍵盤で弾いた演奏を録音する 8
USB メモリーに演奏を取り出す 8

進んだ使いかた 9
ヘッドホンと内蔵スピーカーの両方から音を出す（スピーカー・オート・ミュート） 9
設定を保存する（メモリー・バックアップ） 9
お買い上げ時の設定に戻す（ファクトリー・リセット） 9

ピアノとモバイル機器を Bluetooth® でつなぐ 10
こんなことができます 10
ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす 10
ピアノをアプリと一緒に使う 11

故障かな?と思ったら 13

安全上のご注意 15

使用上のご注意 16

主な仕様 17

内蔵曲一覧 18

索引 20

アプリをダウンロード

iOS
Android

スマートフォン／タブレット用のアプリをダウンロードして、ピアノと一緒に使いましょう。

Roland Piano App

電子楽譜を表示したり、ゲーム感覚で曲の練習をしたり、練習の記録をつけたりすることができます。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 P.15）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

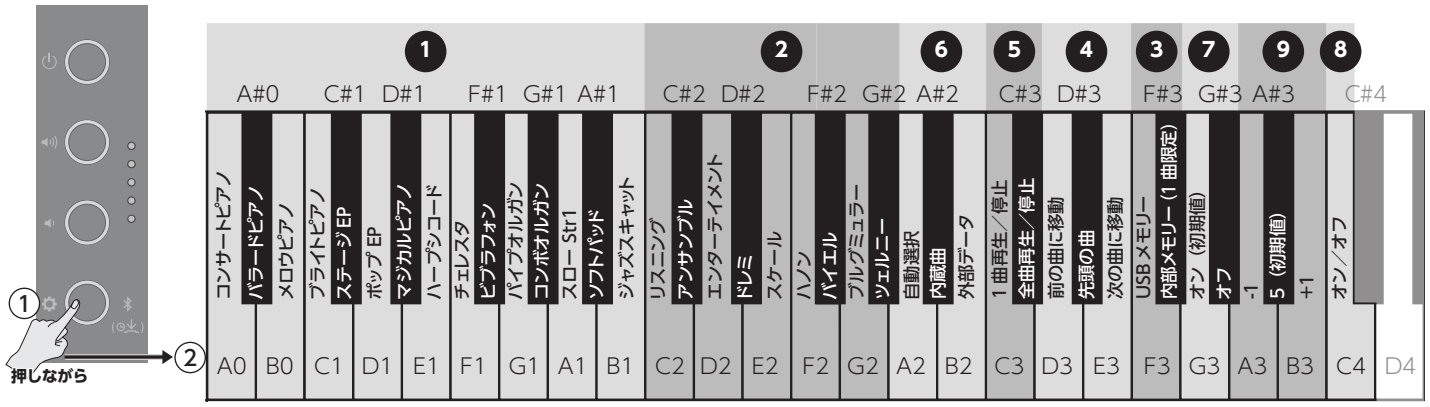
© 2022 Roland Corporation

Bluetooth

クイック・オペレーション

［⚙］（設定）ボタンを押しながら鍵盤を押すと、さまざまな機能を切り替えることができます。

音色を選ぶ	❶	1 つの鍵を押すと、1 つの音色を鳴らすことができます。 2 つの鍵を同時に押すと、2 つの音色を同時に重ねて鳴らすことができます。このような演奏を「デュアル演奏」といいます。
曲を選ぶ	❷	内蔵曲のカテゴリーを選びます。
	❸	USB メモリー内部の曲、または内部メモリーに録音した曲を選びます。
	❹	再生する曲を選びます。 ➡ 「内蔵曲一覧」(P.18)
曲を再生、停止する	❺	カテゴリー内の曲を全曲再生、または 1 曲再生します。 もう一度同じ鍵を押すと停止します。
曲を再生中、鍵盤の音色を設定する（SMF 再生モード）	❻	通常は「自動選択」でお使いください。 **設定** / **説明** **自動選択（初期値）**：再生する曲に合わせて「内蔵曲」か「外部データ」に自動的に変わります。 **内蔵曲**：再生している曲の音色と演奏に使う音色が一緒になります。F107 で音色を変えると、曲の音色も変わります。内蔵曲を再生するときにおすすめです。曲のピアノの音色に、ダンパー・レゾナンス（*1）の効果がかかります。 **外部データ**：再生している曲の音色と演奏に使う音色を別々にできます。F107 で音色を変えても、曲の音色は変わりません。USB 接続したパソコンから曲ファイルを再生するときにおすすめです。曲のピアノの音色に、ダンパー・レゾナンス（*1）の効果はかかりません。 (*1) アコースティック・ピアノのダンパー・ペダルを踏んだときの、ピアノ全体のレゾナンス（弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴する音や、本体全体に共鳴する音）のことです。
Bluetooth を設定する	❼	Bluetooth をオンにすることで、アプリ「Roland Piano App」と接続することができます。（初期値：オン） ➡ 「ピアノとモバイル機器を Bluetooth でつなぐ」(P.10)
メトロノームを鳴らす、止める	❽	鍵を押すたびに、オン（鳴る）／オフ（止める）が切り替わります。
メトロノームの音量を変える	❾	1 ～ 10（初期値：5）
拍子を変える	❿	0/4 (*2)、2/2、3/2、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、3/8、6/8、8/8、9/8、12/8（初期値：4/4） (*2) メトロノームを鳴らすと、すべての拍が同じ音で鳴ります。
テンポを変える	⓫	10 ～ 500（初期値：108）
音に響きをつける（アンビエンス）	⓬	音にコンサート・ホールで演奏しているような響きをつけます。数字が大きいほど音の響きが深くなり、数字が小さいほど音の響きは浅くなります。 0 ～ 10（初期値：1）
ヘッドホン使用時に自然な響きにする（ヘッドホン 3D アンビエンス）	⓭	ヘッドホン使用時でも、ピアノ本体から音が聞こえるような効果をかけることができます。（初期値：オン） ※「ヘッドホン 3D アンビエンス」効果は、ピアノ音色以外には効きません。
音の明るさを調節する（ブリリアンス）	⓮	鍵盤を弾いたときや曲を再生したときの、音の明るさを調節します。数字が大きいほど明るい音になります。 -10 ～ +10（初期値：0）

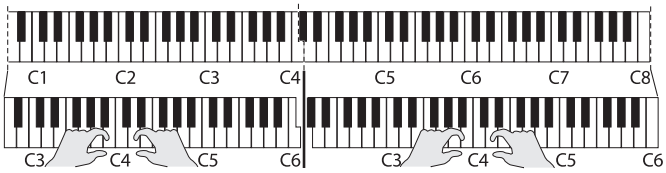


鍵盤を 2 つに分ける（ツインピアノ） ⑮

鍵盤を左右の領域に分けて、2 人で同じ音域で演奏することができます。まるで 2 台のピアノを演奏するように使えます。

鍵盤が左右 2 つの領域に分かれて、それぞれの領域で通常の「中央のド（C4）」を中心とした演奏ができます。音の鳴りかたを 3 通りの中から選ぶことができます。

設定	説明
オフ（初期値）	領域を分ける設定を解除します。
ペア	右側領域の音は右スピーカーが大きく、左側領域の音は左スピーカーが大きく鳴ります。
セパレート	右側領域の音は右スピーカーからのみ、左側領域の音は左スピーカーからのみ鳴ります。



※左右は同じ音色（コンサートピアノ）になります。

※ダンパー・ペダルは右側領域のみに効きます。ソフト・ペダルは左側のダンパー・ペダルとして動作します。

鍵盤のタッチ感を変える（キータッチ） ⑯

鍵盤を弾いたときのタッチ感を設定します。

設定	説明
とても重い	「重い」よりさらに重い設定です。
重い	「普通」より強いタッチで弾かないとフォルティシモ（ff）が出せなくなるので、鍵盤タッチが重くなったように感じられます。
普通（初期値）	「普通」のタッチ（アコースティック・ピアノに一番近いタッチ）です。
軽い	「普通」より弱いタッチでフォルティシモ（ff）が出せるので、鍵盤が軽くなったように感じられます。
とても軽い	「軽い」よりもさらに軽い設定です。
固定	鍵盤を弾く強さに関係なく、一定の強さで音を鳴らします。

他の楽器と音の高さを合わせる（マスター・チューニング） ⑰

他の楽器とアンサンブルするときなど、このピアノの基準ピッチを他の楽器に合わせることができます。

基準ピッチとは、一般的に、「中央のラ（A4）」の鍵盤を弾いたときの音の高さのことをいいます。他の楽器とアンサンブル演奏をするときには、きれいなアンサンブルにするためにお互いの基準ピッチを合わせます。他の楽器と基準ピッチを合わせることを「チューニング」といいます。

415.3Hz ～ 466.2Hz（初期値：442.0Hz）

移調する（トランスポーズ） ⑱

鍵盤の音域を、半音単位で高くしたり低くしたりできます。

歌の伴奏や弾き語りをするときに、演奏する鍵盤の位置を変えずに歌う人の音域に合わせることができます。

-6 ～ 5（初期値：0）

録音した曲を取り出す ⑲

ピアノの内部メモリーに録音した曲を、USB メモリーに取り出すことができます。

➡ 「演奏を録音する」（P.8）

音量を変える（ソング・ボリューム）（USB Audio ／ Bluetooth ボリューム） ⑳ ㉑

⑳ 再生する曲の音量を調節します。

1 ～ 10

㉑ Bluetooth や USB Computer 端子から送られてくるオーディオ信号の音量を調節します。

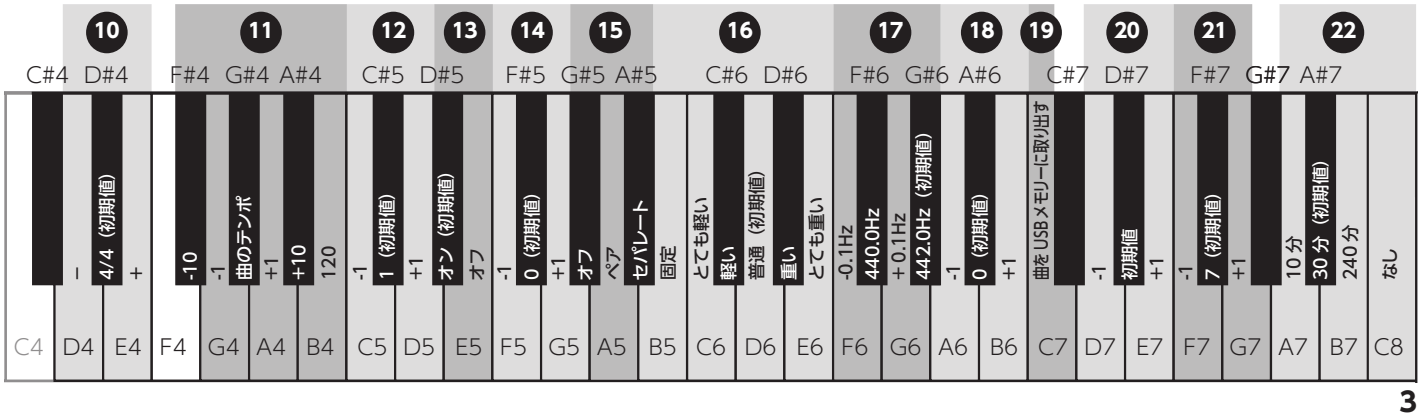
1 ～ 10（初期値：7）

一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする（オート・オフ） ㉒

このピアノは演奏や操作をやめてから 30 分経過すると、自動的に電源が切れます（お買い上げ時の設定）。

自動で電源を切る必要がない場合は、この機能を「オフ」に設定します。

オフ、10、30、240（分）（初期値：30 分）



演奏する前に

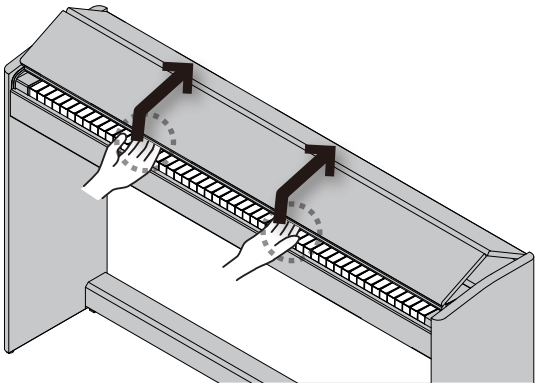
蓋を開ける／閉める

蓋は必ず両手で開け閉めしてください。

※ 蓋を開閉するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監視／指導してください。次ページの「蓋を開け閉めするときの注意点」(P.5) も必ずお読みください。

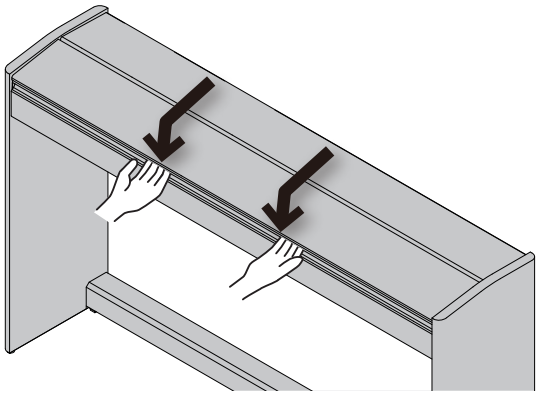
蓋を開ける

蓋の縁を両手で持ち上げ、奥に向かって押します。

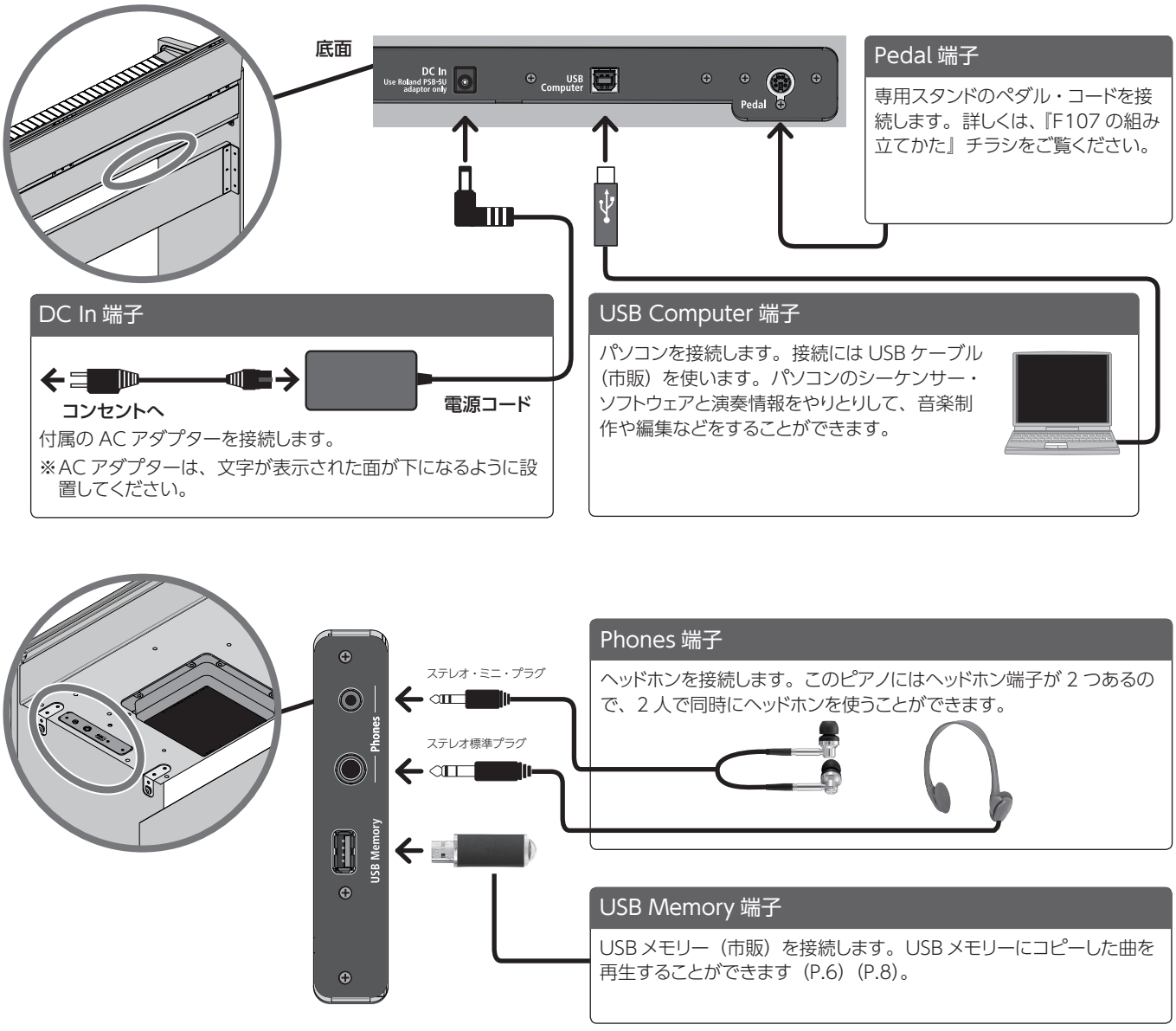


蓋を閉じる

蓋の縁を両手で持ち、静かに手前に引き寄せます。



機器を接続する（底面）



Pedal 端子

専用スタンドのペダル・コードを接続します。詳しくは、『F107 の組み立てかた』チラシをご覧ください。

DC In 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※AC アダプターは、文字が表示された面が下になるように設置してください。

USB Computer 端子

パソコンを接続します。接続には USB ケーブル（市販）を使います。パソコンのシーケンサー・ソフトウェアと演奏情報をやりとりして、音楽制作や編集などをすることができます。

Phones 端子

ヘッドホンを接続します。このピアノにはヘッドホン端子が 2 つあるので、2 人で同時にヘッドホンを使うことができます。

USB Memory 端子

USB メモリー（市販）を接続します。USB メモリーにコピーした曲を再生することができます（P.6）（P.8）。

F107 の基本操作

電源を入れる／切る

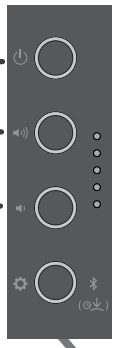
[⏻]（電源）ボタンを押すと、電源が入ります。
また、[⏻]（電源）ボタンを長押しすると、電源が切れます。

※電源を切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

音量を調節する

2 つの音量ボタンで音量を調節します。
[🔊]（ボリューム +）ボタン：音量が大きくなります。
[🔉]（ボリューム -）ボタン：音量が小さくなります。
本体スピーカー使用時は内蔵スピーカーの音量、ヘッドホン接続時はヘッドホンの音量を調節することができます。

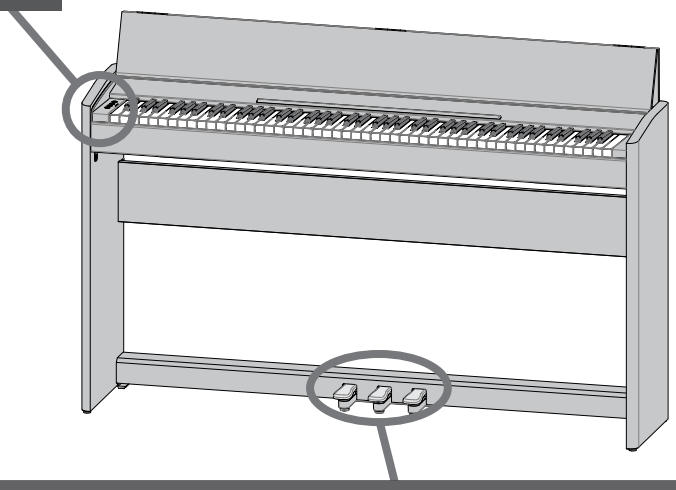
※音量に応じて音量ボタンの右にあるボリューム・インジケーターの点灯する数が変化します。すべて点灯すると音量が最大になります。すべて消灯すると音は鳴りません。



設定を変える

[⚙]（設定）ボタンを押しながら鍵盤を押すと、さまざまな機能を切り替えることができます。

➡ 「クイック・オペレーション」（P.2）

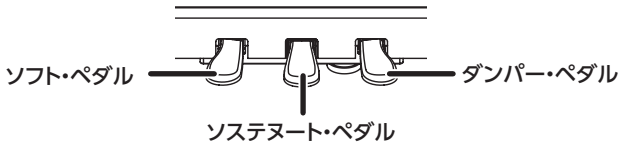


このピアノは、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オート・オフ機能）。自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください（P.3）。

- 電源が切れると編集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください（P.9）。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

ペダルを使う

ペダルを踏むと、ピアノの音に効果を加えることができます。
ローランドのピアノは、一般的なグランドピアノと同じペダルの役割になっています。



ダンパー・ペダル（右）	このペダルを踏んでいる間は、鍵盤から指を離しても音が切れずに長く響きます。踏む深さによって、音の響きが変わります。 ※ 高音部（鍵盤右端から 1.5 オクターブ程度の範囲）に関しては、グランドピアノと同じく、ペダルを踏まなくても音が長く響きます。
ソステヌート・ペダル（中央）	鍵盤を押したあと、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみが長く響きます。 ※ ペダルを踏んだあとに鳴らした別の音に対しては、効果はかかりません。
ソフト・ペダル（左）	音に柔らかさを与えたいときに使います。このペダルを踏んだまま鍵盤を弾くと、通常同じ強さで弾いたときの音よりも柔らかい音が出ます。踏む深さによって、音の柔らかさが微妙に変わります。 ※ 微細な変化のため、音色や演奏環境によっては効果がわかりにくい場合があります。

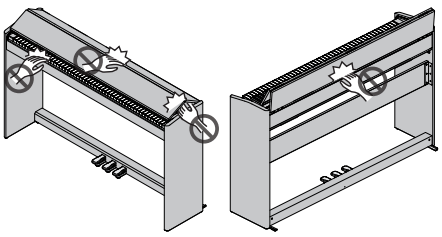
※ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監視／指導してください。

蓋を開け閉めするときの注意点

蓋を開け閉めするときは、折りたたみ部のすき間に指などをはさまないように、十分ご注意ください!

上から押して蓋を閉めると、蓋のすき間に指をはさむなどして大変危険です。

また、蓋を開けるときに蓋を押すと本体が転倒する恐れがあります。蓋を開け閉めするときは、必ず蓋の縁の部分を持ってください。



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

※ 本機がデータを処理しているとき（ボリューム・インジケーターの上から 1 ～ 3 番目が点滅中）は、絶対に電源を切ったり USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。

※ USB メモリーのアクセスランプが点滅している間は、絶対に電源を切ったり USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。

演奏する／曲を聴く／練習する

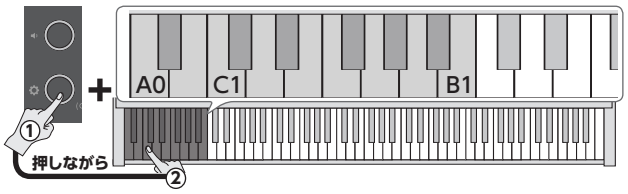
音色を選ぶ

このピアノでは、ピアノやピアノ以外のさまざまな音で演奏を楽しむことができます。

また、アプリに接続すると、ドレミ音色や GM2 音色といったさらに多彩な音色を選ぶこともできます。

➡ 「ピアノとモバイル機器を Bluetooth でつなぐ」（P.10）

1. **[☼] ボタンを押しながら、「A0」～「B1」の鍵盤を押します。**
押した鍵に対応した音色が選ばれます。



音色名	説明
コンサートピアノ (A0)	豪華なコンサート・タイプのグランドピアノの音色です。ジャンルを問わずにお使いいただける、最もおすすめのピアノ音色です。
バラードピアノ (A#0)	落ち着いたグランドピアノの音色です。しっとり聴かせたい曲におすすめです。
メロウピアノ (B0)	バラードピアノよりさらに落ち着いたグランドピアノの音色です。柔らかでゆったりとした雰囲気の曲におすすめです。
ブライトピアノ (C1)	きらびやかなグランドピアノの音色です。アンサンブルの中でピアノを目立たせたいときにおすすめです。
ステージ EP (C#1)	特徴的なトレモロ・エフェクトを搭載した、最もポピュラーなエレクトリック・ピアノ音色です。ポップミュージックやバラード系の曲におすすめです。
ポップ EP (D1)	低域と高域を強調し、音の立ち上がりが目立つようにしたエレクトリック・ピアノ音色です。曲のソロ演奏時などにおすすめです。
マジカルピアノ (D#1)	ピアノ音色にベル音色とパッドと呼ばれるシンセサイザー系の音色を加え、明るくきらびやかな雰囲気に仕上げた音色です。
ハープシコード (E1)	バロック音楽でよく使われる古典楽器の音です。爪で弦を弾く構造によって生み出される繊細な音色が特徴です。
チェレスタ (F1)	チャイコフスキーの組曲「くるみ割り人形」でおなじみの古典楽器の音です。鉄琴に似た、きらびやかで優しい音色が特徴です。
ビブラフォン (F#1)	鉄琴を大きくした構造を持った楽器で、広がりがあり、澄んだ音色が特徴です。ゆったりした演奏でも変化のあるサウンドが楽しめます。
パイプオルガン (G1)	教会など使われているパイプオルガンの音色です。バロック音楽の演奏に向いています。
コンボオルガン (G#1)	トーンホイール・タイプのオルガンの音色です。ジャズミュージックの演奏でよく使われます。
スロー Str1 (A1)	温かみのあるサウンドが特徴の、大編成弦楽合奏の音色です。ゆったりした演奏から速めのパッセージまで対応し、またピアノ音色とのデュアルなど、幅広い使いかたが可能です。
ソフトパッド (A#1)	広がりのあるサウンドが特徴のシンセサイザー音色です。ピアノ音色やエレクトリック・ピアノ音色などと重ねて緩やかな厚みのあるサウンドを楽しめます。
ジャズスキャット (B1)	鍵盤を弾く強さに反応して 4 種類の発声（Doo、Doot、Bap、Daw）が切り替えられるボイスサウンドです。アカペラ風の表現も楽しめるように厚みのある音に仕上げています。

メモ

2 つの鍵を同時に押すと、2 つの音色を同時に重ねて鳴らすことができます。このような演奏を「デュアル演奏」と呼びます。

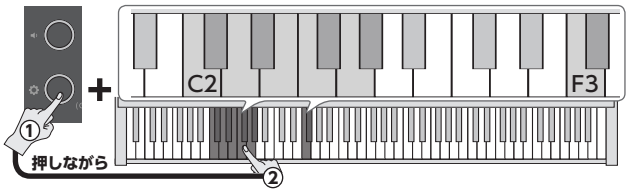
曲を再生する

内蔵曲を聴いてみましょう。内蔵曲はいくつかのカテゴリーで分類されています。

➡ 内蔵曲について、詳しくは「内蔵曲一覧」（P.18）をご覧ください。

カテゴリーを選ぶ

1. **[☼] ボタンを押しながら、「C2」～「G#2」、「F3」～「F#3」の鍵盤を押します。**
押した鍵に対応したカテゴリーが選ばれます。



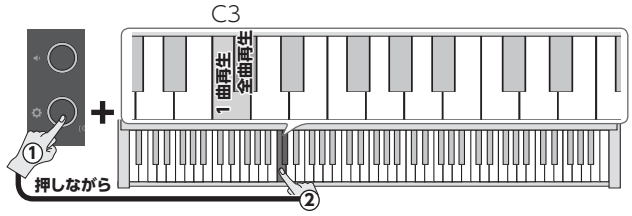
カテゴリー名	説明
リスニング（C2）	リスニングにおすすめのピアノ曲です。
アンサンブル (C#2)	クラシックを中心とした名曲。ピアノ協奏曲、連弾、クラシックのジャズ・アレンジなども楽しめます。弾きごたえのある曲を集めましたので、初中級レベル以上のかたにおすすめです。
エンターテイメント（D2）	ポップス、ジャズ、童謡、世界の名曲など、初心者から上級者まで幅広いかたに楽しんでいただけるアレンジになっています。
ドレミでうたおう (D#2)	曲に合わせてドレミで歌ったり、楽譜を読む練習をしたりして音楽の基礎を学びます。
スケール (E2)	スケール全調（メジャー・スケール、マイナー・スケール）を収録しています。
ハノン (F2)	ハノン・ピアノ教本より第 1 ～ 20 番を収録しています。
バイエル (F#2)	バイエル・ピアノ教則本第 1 ～ 106 番を収録しています。
ブルグミュラー (G2)	ブルグミュラー 25 の練習曲を収録しています。
ツェルニー 100 番 (G#2)	ツェルニー 100 番の練習曲を収録しています。
USB メモリー (F3)	USB メモリーの曲を再生します。(*)
内部メモリー (F#3)	本体に録音した曲（1 曲のみ）を再生します。

(*) F107 は以下の形式のデータを再生できます。

- SMF フォーマット 0/1
- オーディオ・ファイル（WAV 形式、44.1kHz、16 ビット・リニア）
- オーディオ・ファイル（MP3 形式、44.1kHz、64kbps ～ 320kbps）

再生方法を選ぶ

2. **[⚙] ボタンを押しながら、「C3」～「C#3」の鍵盤を押します。**

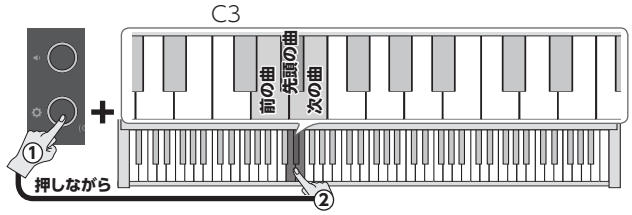


操作する鍵盤	説明
1 曲再生（C3）	カテゴリーの曲を 1 曲だけ再生します。
全曲再生（C#3）	カテゴリーの曲を全曲再生します。

[⚙] ボタンを押しながらもう一度同じ鍵盤を押すと、停止します。

他の曲に変える

3. **[⚙] ボタンを押しながら、「D3」～「E3」の鍵盤を押します。**



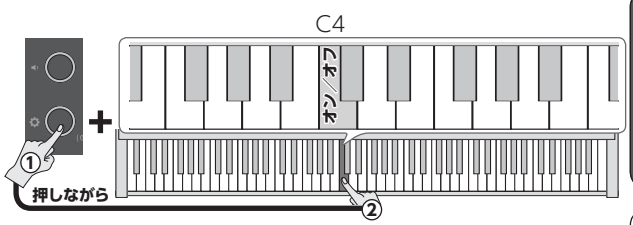
操作する鍵盤	説明
前の曲（D3）	カテゴリー内の前の曲が選ばれます。
先頭の曲（D#3）	カテゴリー内の先頭の曲が選ばれます。
次の曲（E3）	カテゴリー内の次の曲が選ばれます。

メトロノームを使って練習する

メトロノームに合わせて、演奏することができます。メトロノームのテンポや拍子を変えることもできます。

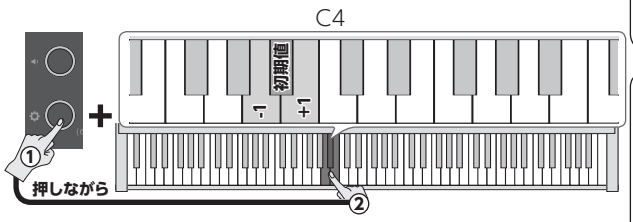
メトロノームを鳴らす、止める

1. **[⚙] ボタンを押しながら、「C4」の鍵盤を押します。**



メトロノームの音量を変える

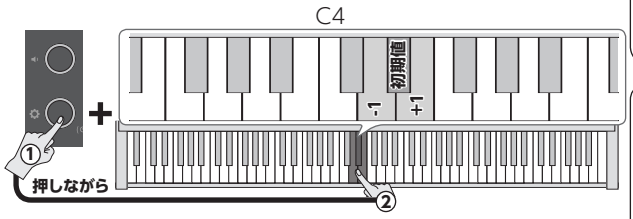
1. **[⚙] ボタンを押しながら、「A3」～「B3」の鍵盤を押します。**



メトロノームの音量	1 ～ 10（初期値：5）

拍子を変える

1. **[⚙] ボタンを押しながら、「D4」～「E4」の鍵盤を押します。**

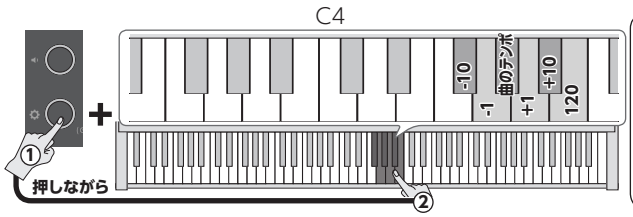


拍子	0/4（*）、2/2、3/2、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、3/8、6/8、8/8、9/8、12/8（初期値：4/4）

(*) メトロノームを鳴らすと、すべての拍が同じ音で鳴ります。

テンポを変える

1. **[⚙] ボタンを押しながら、「F#4」～「B4」の鍵盤を押します。**



テンポ	10 ～ 500（初期値：108）

演奏を録音する

鍵盤で弾いた演奏を録音する

自分で弾いた演奏を録音し、再生して確認することができます。

録音の準備

1. **演奏する音色を選びます。**

2. **必要に応じて、メトロノームを鳴らします（P.7）。**

※ メトロノームの設定は曲に記憶され、再生時も同じ設定で鳴らすことができます。

録音を始める／止める

3. **［⚙］ボタンを押しながら、［🔉］（ボリューム -）ボタンを押します。**

ボリューム・インジケーターの一番上が点滅し、録音待機状態になります。
録音を中止するときには、［⚙］ボタンを押します。

メモ

録音待機状態に入ると、録音を止めるまで「音量を調節する」、「メトロノームを鳴らす、止める」、「メトロノームの音量を変える」、「テンポを変える」以外の操作ができません。

4. **［⚙］ボタンを押しながら、「C3」の鍵盤を押します。**

1 小節のカウントが鳴ってから録音が始まります。
録音中はボリューム・インジケーターの一番上が速く点滅します。

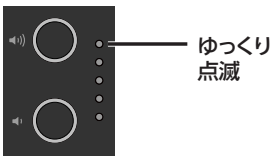
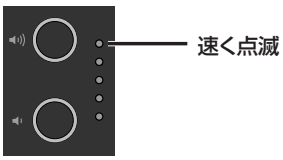
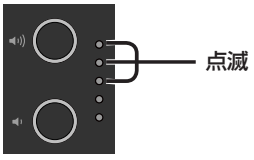
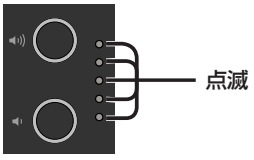
メモ

［⚙］ボタンと「C3」の鍵盤を押すかわりに、鍵盤を弾いて録音を始めることもできます。この場合カウントは鳴りません。

5. **演奏します。**

6. **録音を止めるときは、もう一度［⚙］ボタンを押しながら［🔉］（ボリューム -）ボタンを押します。**

すべてのボリューム・インジケーターが点滅すると、保存完了です。

待機状態	
録音中	
録音保存中	
保存完了	

録音した演奏を聴く

7. **［⚙］ボタンを押しながら、「C3」の鍵盤を押します。**

演奏後は、録音した曲が選ばれています。
録音した曲の再生が始まります。

録音をやり直したいときには?

1. **手順 3 から操作をやり直します。**

※ 内部メモリーに録音できる演奏データは 1 曲のみです。録音をやり直した場合、以前に録音した演奏データは上書きされます。

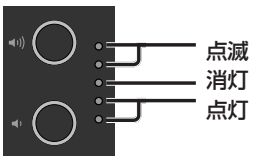
USB メモリーに演奏を取り出す

録音した曲を USB メモリーにコピーします。

1. **コピーする USB メモリーを USB Memory 端子に接続します。**

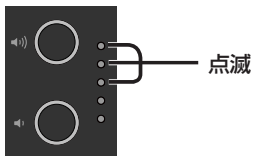
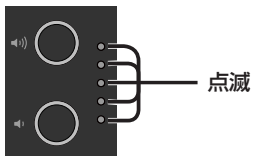
2. **［⚙］ボタンを押しながら、「C7」の鍵盤を押します。**

ボリューム・インジケーターが図のような状態になります。



3. **［🔊］（ボリューム +）ボタンを押します。**

曲のコピーが実行されます。
キャンセルするときは、［🔉］（ボリューム -）ボタン、または［⚙］ボタンを押します。

曲のコピー実行中	
コピー完了	

※ 曲のコピー実行中は絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

※ コピーできる楽曲は 100 曲までです。

進んだ使いかた

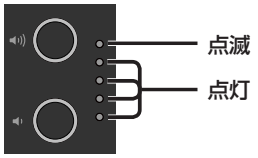
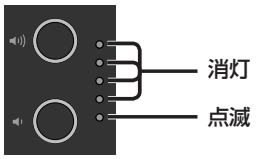
ヘッドホンと内蔵スピーカーの両方から音を出す（スピーカー・オート・ミュート）

お買い上げ時の状態では、Phones 端子にヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーから音を出さないように設定されています。しかし、設定を変えることで、ヘッドホンと内蔵スピーカーの両方から音を出すことができます。

※ 設定を変えると、ヘッドホンから出力される音の音質は変わります。

1. **[🔊]（ボリューム +）ボタンと［🔉］（ボリューム -）ボタンを押しながら、［⚙］ボタンを押します。**

2. **［⚙］ボタンを押して、設定を切り替えます。**

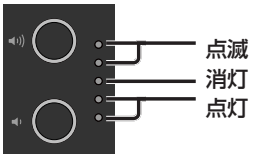
Phones 端子にヘッドホンをつないでいるとき	ボリューム・インジケーターの表示
ヘッドホンからのみ音が出る（初期値）	
ヘッドホン、内蔵スピーカーの両方から音が出る	

3. **操作を終了するときには、［🔊］（ボリューム +）ボタンまたは［🔉］（ボリューム -）ボタンを押します。**

設定を保存する（メモリー・バックアップ）

このピアノは、電源を入れ直しても「自動で保存される設定」は記憶しています。また、「メモリー・バックアップ」の設定をすると、「メモリー・バックアップで保存される設定」も記憶しておくことができます。これら以外の設定は、電源を入れ直すと初期値に戻ります。

1. **［⚙］ボタンを押しながら［🔊］（ボリューム +）ボタンを押します。**



2. **［🔊］（ボリューム +）ボタンを押します。**

設定が保存されます。

キャンセルするときは、［🔉］（ボリューム -）ボタン、または［⚙］ボタンを押します。

自動で保存される設定	ページ
スピーカーの音量	P.5
ヘッドホンの音量	P.5
Bluetooth オン／オフ	P.2
USB Audio ／ **Bluetooth** ボリューム	P.3
オート・オフ	P.3

「メモリー・バックアップ」で保存される設定	ページ
音の響き（アンビエンス）	P.2
音の明るさ（ブリリアンス）	P.2
ヘッドホン 3D アンビエンス	P.2
キータッチ	P.3
マスター・チューニング	P.3
メトロノーム（音量）	P.2
SMF 再生モード	P.2
スピーカー・オート・ミュート	P.9

お買い上げ時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

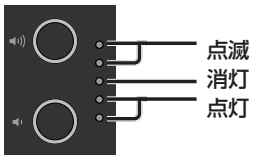
ピアノに保存されている設定を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。この機能を「ファクトリー・リセット」といいます。

注意

「ファクトリー・リセット」をすると、すべての設定は初期化され、内部メモリーに録音した曲も消去されます。

1. **[🔊]（ボリューム +）ボタンと［🔉］（ボリューム -）ボタンを押しながら電源を入れて、そのまま[🔊]（ボリューム +）ボタンと［🔉］（ボリューム -）ボタンを押したままにします。**

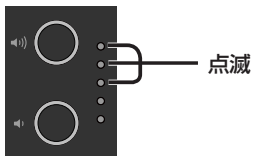
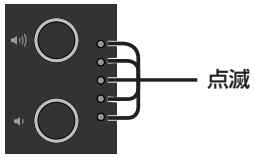
ボリューム・インジケーターが以下のように表示されたら、指を離します。



2. **［🔊］（ボリューム +）ボタンを押します。**

ファクトリー・リセットが実行されます。

キャンセルするときは、［🔉］（ボリューム -）ボタン、または［⚙］ボタンを押します。

ファクトリー・リセット実行中	
完了	

※ ファクトリー・リセット実行中は絶対に電源を切らないでください。

3. **ボリューム・インジケーターの状態が「完了」になったら、電源を入れ直します。**

ピアノとモバイル機器を Bluetooth® でつなぐ

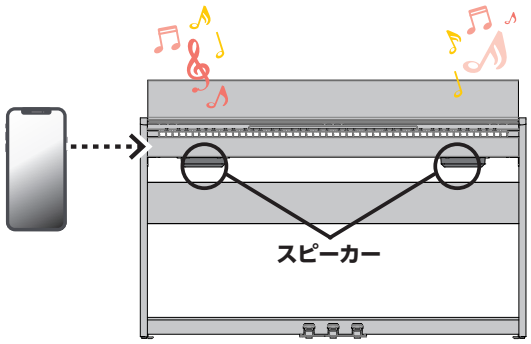
こんなことができます

Bluetooth 機能を使うと、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器（以下、「モバイル機器」と呼びます）とピアノが無線でつながり、次のことができます。

→ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす

10 ページ

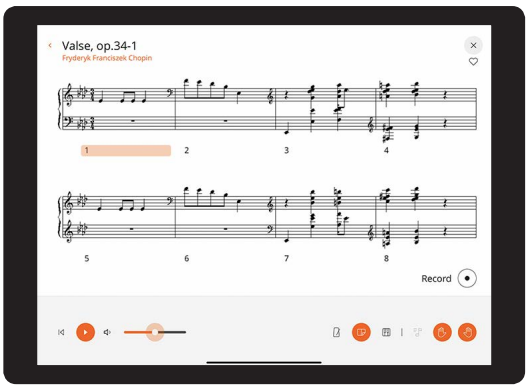
モバイル機器に保存している音楽データを再生すると、無線でピアノのスピーカーから鳴らすことができます。



→ピアノをアプリと一緒に使う

11 ページ

アプリ（ローランド製「Roland Piano App」）をモバイル機器にインストールして、ピアノと連携して使うことができます。



アプリ「Roland Piano App」

ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす

モバイル機器に保存している音楽データを、ワイヤレスでピアノのスピーカーから再生するための設定をします。

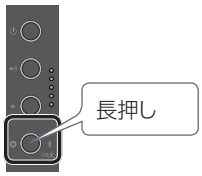
※ ピアノとのペアリングが済んだモバイル機器は、再度ペアリングする必要はありません。「初期設定済みのモバイル機器を接続する」(P.11）の手順をご覧ください。

初期設定をする（ペアリング）

例として、iPad を使った設定方法を紹介します。Android 機器をお使いの場合、設定方法についてはお使いのモバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

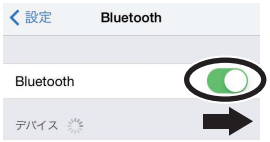
1. 接続したいモバイル機器をピアノ周辺に置きます。

2. ピアノの［⚙］ボタン（Bluetooth）を 5 秒以上押し続けます。



［⚙］ボタンが点滅（青色）し始めたら、指を離します。

3. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



4. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「F107 Audio」をタップします。



ピアノとモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが成功すると、以下のように表示されます。

モバイル機器	「自分のデバイス」欄に「F107 Audio」が追加される
ピアノ	［⚙］ボタンが点灯する（青色）

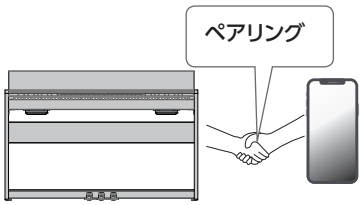
以上で初期設定は完了です。

ペアリング

Bluetooth 機能を使うには、はじめにピアノとモバイル機器を 1 対 1 でつなぐ「ペアリング」が必要です。

「ペアリング」は、使いたいモバイル機器にピアノを登録する（お互いに認証する）ための手続きです。

各機能の手順に従ってペアリングをしてください。



ペアリングの流れ

「ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす」場合と「ピアノをアプリと一緒に使う」場合は、それぞれにペアリング操作が必要です。ペアリングの流れが異なりますので、ご注意ください。

ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす場合

ピアノの設定 ↓ モバイル機器の設定

ピアノをアプリと一緒に使う場合

モバイル機器の設定 ↓ App アプリの設定

初期設定済みのモバイル機器を接続する

1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。
ピアノとモバイル機器が無線でつながります。

メモ

上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の **Bluetooth** デバイス画面に表示されている「F107 Audio」をタップしてください。

オーディオを再生する

モバイル機器で音楽データを再生すると、ピアノのスピーカーから音が鳴ります。

Bluetooth オーディオのボリュームを調節する

通常は、お使いのモバイル機器側でボリュームを調節します。

それでも思ったようなボリュームにならないときは、以下の操作でボリュームを調節します。

1. [⚙] ボタンを押しながら、鍵盤の F7、F#7、または G7 を押してボリュームを調節します。

操作する鍵盤	説明
F7	ボリュームの値を -1 します。
F#7	ボリュームの値を初期値（7）にします。
G7	ボリュームの値を +1 します。
設定範囲	1 ～ 10（初期値：7）

ピアノをアプリと一緒に使う

ピアノと連携して、モバイル機器にインストールしたアプリを使えるようにする設定をします。

このピアノと一緒に使えるアプリ

アプリ名	対応 OS	説明
Roland Piano App	iOS Android	電子楽譜を表示したり、ゲーム感覚で曲の練習をしたり、練習の記録をつけたりすることができます。

※ アプリは App Store、Google Play よりダウンロードできます（無料）。

※ 上記以外にも、Bluetooth MIDI 対応の音楽アプリ（GarageBand など）を使うことができます。

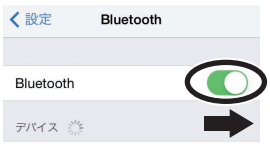
※ 本書は、発行時点での当社製アプリの情報を掲載しています。最新情報については、ローランド・ホームページをご覧ください。

設定をする（ペアリング）

モバイル機器にインストールしたアプリとピアノを一緒に使う設定をします。ここでは、例として iPad を使ってアプリ「Roland Piano App」を使うときの手順を紹介します。

※「ピアノをアプリと一緒に使う」場合は、ピアノ側の設定は不要です。アプリからの操作でピアノとペアリングをします。

1. モバイル機器の設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



注意

「デバイス」欄に、お使いの製品名（「F107 MIDI」など）が表示されてもタップしないでください。

2. モバイル機器にインストールしたアプリを起動します。

3. アプリ画面上部の「接続状態」をタップし、「ピアノと接続する」をタップします。



アプリ画面に「F107 MIDI」が表示されます。

4. 「F107 MIDI」をタップします。
ピアノとモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが成功すると、以下のように表示されます。

モバイル機器	「自分のデバイス」欄に「F107 MIDI」が追加される
ピアノ	[⚙] ボタンが点灯する（青色）

以上で設定は完了です。

ペアリングがうまくいかないときは?

「ピアノをアプリと一緒に使う」（P.11）のペアリングがうまくいかないときは、以下の手順 1 ～ 4 をお試しください。

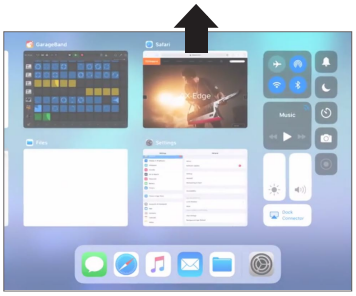
❶ ピアノの Bluetooth 機能が「オン」になっているか確認する

1. [⚙] ボタンを押しながら、「G3」の鍵盤を押します。
   ピアノの Bluetooth 機能がオンになります。

❷ モバイル機器のすべてのアプリを終了する

アプリの終了方法

1. ホーム画面の下部から上にスワイプし、画面の中ほどでそのまま指を止めます。その後、アプリ画面を上にスワイプします。



※ モバイル機器によっては、アプリの終了方法が異なる場合があります。お使いのモバイル機器の操作方法に従って終了させてください。

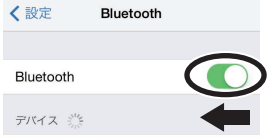
❸ ペアリングされている場合は一度解除し、Bluetooth 機能をオフにする

ペアリングの解除方法

1. モバイル機器画面の「接続済み」横にある「i」をタップして、「このデバイスの登録を解除」をタップします。



2. Bluetooth スイッチをオフにします。



❹ モバイル機器を再起動する

❺ P.11 のペアリング手順 1 からやり直す

メモ

内容を確認しても解決しないときは、ローランドのサポート・ページをご覧ください。

https://www.roland.com/jp/support/

故障かな?と思ったら

症状	確認事項	原因／対策	ページ
ピアノの音に関するトラブル			
音が鳴らない	音量が小さくなっていませんか?	音量を上げてください。	P.5
	ヘッドホン端子にヘッドホンや変換プラグを差していませんか?	ヘッドホン端子にヘッドホンや変換プラグを接続しているときは、スピーカーから音が出ません。	P.4
	ヘッドホンから音を鳴らす場合は、機器が正しく接続されていますか?		
鍵盤や曲の音程、ピッチがずれている	移調の設定をしていませんか?	「移調する」の設定で、移調を解除してください。	P.3
	チューニングの設定は適切ですか?	お買い上げ時の基準ピッチは、「442.0Hz」に設定されています。「マスター・チューニング」の設定を確認してください。	P.3
鍵盤を弾くと 2 つの音が鳴る	2 つの音色を重ねる「デュアル演奏」の設定がされていませんか?	[⚙]（設定）ボタンを押しながら「A0」の鍵盤を押して、デュアル演奏を解除してください。	P.6
	外部シーケンサー等に接続していませんか?	別の音源から鳴らないようにするには、お使いの音楽制作ソフトウェアの「ソフト・スルー」の設定を「オフ」にしてください。	–
音の響き効果をオフにしても残響音がする	アコースティック・ピアノの奥行感や響きも忠実に再現しているためで、故障ではありません。音の響き効果をオフにしても、アコースティック・ピアノ本来の響きが残ります。		–
高音部で、ある鍵盤から音が急に変わる	アコースティック・ピアノでは、高音部の 1.5 オクターブ程度の範囲はダンパー・ペダルに関係なく音が最後まで延びます。また音色も違っています。 このピアノは、こうしたアコースティック・ピアノの動作を忠実に再現しています。また、ダンパー・ペダルの影響を受けない範囲はトランスポーズの設定によって変化します。		–
鍵盤を押したとき、押していない鍵盤の音もかすかに聞こえる	鳴らしている音の倍音（整数倍の振動数を持つ音）が共鳴して、響きが変わったように聞こえる場合がありますが、故障ではありません。		–
「キーン」という音がする	**ヘッドホンで聴こえる場合：** きらびやかで粒立ちがはっきりしている一部のピアノ音色では、高調波成分が多く含まれているため、金属的な響きが加わって聞こえることがあります。これはピアノ本来の特徴を忠実に再現しているためで、故障ではありません。 この響きは、音の響き効果を深くするとより耳につきやすくなりますので、音の響き効果を浅くすることで減少する場合があります。		P.2
	ヘッドホンからは聴こえない場合： 別の原因（本体の共鳴など）が考えられます。お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。		–
低音がおかしい／ビリビリと共鳴する	音量を最大にしていませんか?	音量を最大にすると、演奏方法によっては音がひずむことがあります。その場合は、音量を下げてください。	P.5
	ヘッドホンで聴こえる場合： ピアノに何らかの問題があると考えられます。お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。		–
	ヘッドホンからは聴こえない場合： スピーカーから出力される音が大きいために、ピアノ周辺のものが共鳴していることが考えられます。共鳴を抑えるには、次のことにご注意ください。 • 音量を控える。 • ピアノを壁などから 10 ～ 15cm 離して設置する。 • 共鳴している器具などから遠ざける。		–
音色の設定によって聞こえかたが変わる	2 つの音色を重ねる「デュアル演奏」では、音色の組み合わせによって聞こえかたが変わることがあります。組み合わせによって、片方の音色にエフェクトがかからないためで、故障ではありません。		–

故障かな?と思ったら

症状	確認事項	原因／対策	ページ
ペダルに関するトラブル			
ペダルが効かない／効きっぱなしになる	ペダル・コードが正しく接続されていますか?	ピアノ底面にあるペダル端子を確認してください。	P.4
	ピアノの電源を入れたまま、ペダル・コードを抜き差ししていませんか?	ピアノの電源を入れたままペダル・コードを抜くと、ペダルの効果がかかったままになることがあります。ペダル・コードを抜き差しするときは、ピアノの電源を切ってください。	P.5
	「ツインピアノ」がオンになっていませんか?	「ツインピアノ」をオンにすると、右ペダルは右側鍵盤のみ、左ペダルは左側鍵盤のみに効くようになります。	P.3
曲の再生に関するトラブル			
曲が鳴らない／音量が小さい	曲の再生音量の設定が「1」になっていませんか?	曲の再生音量を上げてください。	P.3
「曲ボリューム」の値を変えても音量が変わらない	「SMF 再生モード」を「内蔵曲」に設定していませんか?	「SMF 再生モード」を「外部データ」に設定してください。	P.2
曲を再生すると選んでいる音色が変わってしまう	「SMF 再生モード」を「内蔵曲」に設定していませんか?	「SMF 再生モード」を「外部データ」に設定してください。	P.2
USB メモリーに保存されている曲を再生できない	ファイルの拡張子は「.WAV」、「.MP3」または「.MID」ですか?	このピアノで再生できるファイルは、WAV 形式または MP3 形式のオーディオ・ファイルと、MIDI ファイルの 3 種類です。	P.6
録音に関するトラブル			
録音と再生で音量が違う	曲の再生音量の設定が小さくなっていませんか?	曲の再生音量を上げてください。	P.3
その他のトラブル			
設定が変更できない	ボリューム・インジケーターの一番上が点滅していませんか?	ボリューム・インジケーターの一番上が点滅している場合、ピアノは録音待機状態、もしくは録音中状態になっています。この状態では「音量を調節する」、「メトロノームを鳴らす、止める」、「メトロノームの音量を変える」、「テンポを変える」以外の操作ができません。	P.8
ヘッドホンを使って消音しても、鍵盤を弾くとカタカタ鳴る	このピアノの鍵盤は、アコースティック・ピアノの構造をシミュレートして設計されています。アコースティック・ピアノの場合でも、鍵盤を押したときに打鍵音が実際に出ています。打鍵音がカタカタ鳴っていても故障ではありません。		–
電源が勝手に切れる	一定時間使用していないと電源を自動的に切る設定がされていませんか?	自動で電源を切る必要がない場合は、オート・オフ機能の設定を「オフ」にしてください。	P.3
	USB メモリーにある非常に大きな音量の SMF やオーディオ・ファイルを再生すると、保護回路がはたらいて電源が切れることがあります。	曲の再生音量を小さくしてください。	P.3
電源が入らない	AC アダプターが正しく接続されていますか?		P.4
ボリューム・インジケーターの奇数、偶数番目が交互に点滅している	システムに何らかの異常が発生しています。ピアノの電源を入れ直してください。それでも解決しない場合は、ファクトリー・リセットをしてください。		P.9

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⃠は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	● は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、● の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

⚠ 警告

オート・オフ機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オート・オフ機能）。自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください（P.3）。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



⚠ 注意

移動するときの注意

本機を移動するときは以下のことを確認したあと、必ず 2 人以上で水平に持ち上げて運んでください。このとき、手をはさんだり、足の上に落としたりしないように注意してください。



- 機器本体とスタンドを固定しているネジが緩んでいないか、確認する。緩んでいる場合は、しっかり固定する。
- 電源コードをはずす。
- 外部機器との接続をはずす。
- 蓋を閉じる。

指などをはさまないように注意する

下記の可動部を操作するときは、指などをはさまないように注意してください。お子様が使用されるときは、大人のかたが監視／指導してください。



- 蓋（P.4）
- ペダル（P.5）

⚠ 注意

椅子を使用するときの注意

椅子を使用するときは、必ず次の事項を守ってください。



- 椅子で遊んだり、踏み台にしたりしない。
- 2 人以上で腰掛けない。
- 椅子の脚を止めているボルトが緩んでいたら、腰掛けない。（緩みがあるときは随時付属の工具で締め直してください）

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- 付属品

  ネジ類

  コードクランプ

使用上のご注意

電源について

- AC アダプターは、文字が表示された面が下になるように設置してください。

設置について

- 鍵盤の上にものを置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

鍵盤の取り扱いについて

- ペンなどで書き込みをしたり、印を付けたりしないでください。インクが表面のラインに染み込んで落ちなくなります。
- シールなどを貼ったりしないでください。粘着力の強いものでは、シールがはがれなくなったり、粘着剤によって変色したりすることがあります。
- ひどい汚れを落とすときは、研磨剤が入っていない市販の鍵盤クリーナーを使ってください。はじめは軽く拭くようにします。汚れが落ちないときは、傷がつかないように徐々に力を入れながら拭くようにしてください。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップするか、メモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 演奏時の打鍵音や振動は床や壁を通じて意外によく伝わります。周囲に迷惑がかからないように注意しましょう。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
  - 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
  - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

電波に関する注意

- 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解／改造する
  - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
  - 本製品を購入した国以外で使用する
- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）や特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  - 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてローランドお客様相談センターにご相談ください。
  - その他、発生した問題についてお困りの場合も、ローランドお客様相談センターにご相談ください。

    ※ ローランドお客様相談センターへの連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
- 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

知的財産権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム（www.tron.org）の T-License 2.0 に基づきμ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

  Copyright © 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved.
  Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
  You may obtain a copy of the License at
  http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0
  Copyright © 2018 STMicroelectronics. All rights reserved.
  This software component is licensed by ST under BSD 3-Clause license, the "License";
  You may obtain a copy of the License at
  https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
  本製品は Jansson（http://www.digip.org/jansson/）ソースコードを使用しています。
  Copyright © 2009-2016 Petri Lehtinen <petri@digip.org>
  Released under the MIT license
  http://opensource.org/licenses/mit-license.php
- Roland、SuperNATURAL、Roland Piano App は、日本およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

主な仕様

音源	ピアノ音：スーパーナチュラル・ピアノ音源
鍵盤	PHA-4 スタンダード鍵盤：エスケープメント付、象牙調（88 鍵）
Bluetooth	**Bluetooth** 標準規格 Ver 4.2 対応プロファイル：A2DP（オーディオ）、GATT（MIDI over **Bluetooth** Low Energy） 対応コーデック：SBC（SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応）
電源	AC アダプター
消費電力	8W（付属 AC アダプター使用時）
	ボリュームを中央にしてピアノ演奏したときの消費電力の目安：4W 電源投入後、音を鳴らしていない状態の消費電力：3W
外形寸法	蓋を閉めたとき： 1,360（幅）×345（奥行）×778（高さ）mm 蓋を開けたとき： 1,360（幅）×345（奥行）×910（高さ）mm ※転倒防止金具を含む
質量	34.5kg
付属品	取扱説明書、「組み立てかた」チラシ、「安全上のご注意」チラシ、AC アダプター、電源コード、専用固定椅子、転倒防止金具、保証書

※本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

お問い合わせの窓口

ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品（電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど）

https://roland.cm/roland_support

プロAV製品（ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など）

https://roland.cm/proav_support

BOSS製品

https://roland.cm/boss_support

'22. 02. 01 現在

内蔵曲一覧

No.	曲名	作者
リスニング		
1	ワルツ作品 34-1	ショパン
2	英雄ポロネーズ	ショパン
3	ノクターン 第 20 番	ショパン
4	ます	シューベルト、リスト編曲
5	水の反映	ドビュッシー
6	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
7	ラ・カンパネラ	リスト
8	スケルツォ 第 2 番	ショパン
9	舟歌	ショパン
10	ひばり	グリンカ、バラキレフ編曲
アンサンブル		
1	ピアノ協奏曲 第 1 番 *	チャイコフスキー
2	ピアノ協奏曲 第 2 番 *	ラフマニノフ
3	パッヘルベルのカノン（ジャズ・アレンジ）*	パッヘルベル
4	シシリエンヌ（ジャズ・アレンジ）*	フォーレ
5	ドリーより「子守歌」	フォーレ
6	マ・メール・ロワより「妖精の園」	ラヴェル
7	四季より「春」*	ビバルディ
8	軍隊行進曲 *	シューベルト
9	眠れる森の美女より「ワルツ」*	チャイコフスキー
10	魔法使いの弟子 *	デュカス
11	愛のあいさつ	エルガー
12	亡き王女のためのパヴァーヌ	ラヴェル
13	メヌエット ト長調	J.S. バッハ
14	前奏曲	J.S. バッハ
15	トルコ行進曲	モーツァルト
16	エリーゼのために	ベートーベン
17	トルコ行進曲	ベートーベン
18	歌の翼に	メンデルスゾーン
19	別れの曲	ショパン
20	小犬のワルツ	ショパン
21	幻想即興曲	ショパン
22	トロイメライ	シューマン
23	お人形の夢と目覚め	オースティン
24	婚礼の合唱	ワーグナー
25	愛の夢 第 3 番	リスト
26	ハンガリア舞曲 第 5 番	ブラームス
27	月の光	ドビュッシー
28	アラベスク 第 1 番	ドビュッシー
29	ゴリウォッグのケークウォーク	ドビュッシー
30	おまえが欲しい	サティ

No.	曲名	作者
エンターテイメント		
1	だったん人の踊り	ボロディン
2	オンブラ・マイ・フ	ヘンデル
3	私を泣かせてください	ヘンデル
4	きらきら星	フランス民謡
5	メリーさんのひつじ	外国曲
6	もりのくまさん	アメリカ民謡
7	山の音楽家	ドイツ民謡
8	大きな古時計	ヘンリー・ワーク
9	ジングル・ベル	ピアポント
10	クリスマスおめでとう	クリスマス・キャロル
11	きよしこの夜	フランツ・グルーバー
12	アメイジング・グレイス	讃美歌
13	ラベンダーズ・ブルー	トラディショナル
14	オーラ・リー	ジョージ・R・プールトン
15	蛍の光	トラディショナル
16	グリーン・スリーブス	トラディショナル
17	メープル・リーフ・ラグ	スコット・ジョップリン
18	エンターテイナー	スコット・ジョップリン
19	聖者が街にやってくる	アメリカ民謡
20	茶色の小瓶	ジョセフ・ウィナー
ドレミでうたおう		
1 ～ 15	練習 1 ～ 15	ローランド株式会社
16	きらきら星	フランス民謡
17	ぶんぶんぶん	トラディショナル
18	かえるの合唱	ドイツ民謡
19	かっこう	トラディショナル
20	おお!スザンナ	フォスター
21	手をたたきましょう	トラディショナル
22	これはなんとすばらしい音だ	モーツァルト
23	ブラームスの子守歌	ブラームス
24	スケーターズ・ワルツ	ワルトトイフェル
25	メヌエット	バッハ
26	故郷の人々	フォスター
27	ひいらぎかざろう	讃美歌
28	ダニー・ボーイ	アイルランド民謡
29	コロブチカ	ロシア民謡
30	さくらさくら	日本古謡

No.	曲名	作者
スケール		
1 ～ 36	長調、短調（ハーモニック、メロディック）	_
ハノン		
1 ～ 20	1 ～ 20 番	ハノン
バイエル		
1 ～ 106	1 ～ 106 番	バイエル
ブルグミュラー		
1	素直な心	ブルグミュラー
2	アラベスク	
3	牧歌	
4	子供のパーティー	
5	無邪気	
6	前進	
7	清いながれ	
8	優美	
9	狩	
10	やさしい花	
11	せきれい	
12	お別れ	
13	なぐさめ	
14	スティリエンヌ	
15	バラード	
16	小さな嘆き	
17	おしゃべり	
18	不安	
19	アヴェ・マリア	
20	タランテラ	
21	天使の声	
22	舟歌	
23	家路	
24	つばめ	
25	貴婦人の乗馬	
ツェルニー 100 番		
1 ～ 100	1 ～ 100 番	ツェルニー

※ これらの内蔵曲を個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。

※ (*) マークのついている曲はローランド株式会社によるアレンジです。著作権はローランド株式会社が所有しています。

※ リスニング・カテゴリーはピアノ・ソロ曲です。伴奏はついていません。

※ 音色デモや内蔵曲の演奏データは、USB Computer 端子と Bluetooth (MIDI) からは出力されません。

※ SMF 再生モード（P.2）を「内蔵曲」に設定しているときは、曲の再生音量（P.3）の値を変えても音量が変わらないパートがあります。SMF 再生モードを「外部データ」に設定すると、すべてのパートの音量が変化します。

索引

B
Bluetooth . . . . . **2、10**

D
DC In 端子 **4**

P
Pedal 端子 **4**
Phones 端子 **4**

S
SMF 再生モード . . . . . **2、19**

U
USB Audio ／ **Bluetooth** ボリューム . . . . . **3、11**
USB Computer 端子 **4**
USB Memory 端子 **4**
USB メモリー . . . . . **4、8**

あ
アプリ **11**
アンビエンス **2**

い
移調する **3**

お
オート・オフ **3**
音に響きをつける **2**
音の明るさを調節する **2**
音色 . . . . . **2、6**
音量 . . . . . **3、5**

き
キータッチ **3**
曲を選ぶ **2**
曲を再生、停止する **2**

し
自動メモリー・バックアップ **9**

す
スピーカー・オート・ミュート **9**

せ
（設定）ボタン **2**
設定を保存する **9**

そ
ソステヌート・ペダル **5**
ソフト・ペダル **5**
ソング・ボリューム **3**

た
ダンパー・ペダル **5**
ダンパー・レゾナンス **2**

つ
ツインピアノ **3**

て
デュアル演奏 . . . . . **2、6**
（電源）ボタン **5**
テンポ **2**

と
トランスポーズ **3**

な
内蔵曲 . . . . . **2、6、18**

ひ
拍子 **2**

ふ
ファクトリー・リセット **9**
蓋 **4**
ブリリアンス **2**

へ
ペアリング . . . . . **10、11**
ペダル **5**
ヘッドホン . . . . . **4、9**

ほ
（ボリューム +）ボタン **5**
（ボリューム -）ボタン **5**

ま
マスター・チューニング **3**

め
メトロノーム **2**
メモリー・バックアップ **9**

ろ
録音 **8**

ローランド株式会社
〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1